

令和6年度南三陸町議会12月会議 一般質問通告書

通告1番 阿部 司 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 選挙投票率の向上策について伺う

質問の相手 町長、選挙管理委員長

質問の要旨 今回実施された国政選挙結果においては多くの国民の関心を引く結果となっている。

については、政治関心度合の目安となる選挙投票率の以下の点につき伺う。

- 1 当町の合併時からの各種選挙別投票率及び期日前投票と年代別投票状況の分析結果について（質問相手：選挙管理委員長）
- 2 投票率の変化が町民に与える影響について（質問相手：町長）
- 3 今後の選挙投票率の向上に向けた取り組みについて（質問相手：選挙管理委員長）

2件目

質問事項 家屋耐震強化の取り組みについて

質問の相手 町長

質問の要旨 東日本大震災の発災から13年余が経過したが、今後東北沿岸部に被害が及ぶとされる巨大地震への警鐘は現在も続いている。

については、その対策として以下の点につき伺う。

- 1 東日本大震災発災以降の当町が実施している年次別家屋の「耐震診断」とそれに基づく「耐震改修」の実績について
- 2 耐震化から得られる事業効果と事業推進上の課題について
- 3 今後の耐震強化への取り組みについて

通告2番 三浦 清人 議員

質問方式 一問一答

1件目

質問事項 交流人口の拡大

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 歌津地区に魚竜館建設が必要と考えるが。

2件目

質問事項 子育て支援について

質問の相手 町長

質問の要旨 公私立保育所、こども園等の利用料、食費を無償化にすべき。

通告 3 番 後藤 伸太郎 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 さらに子育てしやすい町を目指して

質問の相手 町長

質問の要旨 次世代のために優先して取り組んでいることと、新年度に向けた事業計画をどう考えているかについて伺う。

- 1 近年進めてきた子育て支援策とその成果は。
- 2 さらに子育て支援の拡充は。
- 3 新年度開設予定の子ども家庭センターの業務内容と体制は。
- 4 町内の子どもの虐待は増加傾向のままか。
- 5 決算の総括的質疑で、子育て世代とよく意見交換をして、今後に必要な施策を継続するという主旨の答弁をいただいたと記憶しているが、子育て世代とどのように対話しているのか。

2 件目

質問事項 スポーツ振興のための施設整備を

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 町内の体育施設は老朽化も進んでいる。計画的な整備が必要だが、どのように進めるのか。

- 1 ベイサイドアリーナの照明の交換は。(質問相手：教育長)
- 2 ベイサイドアリーナで現在行われている工事の進捗と今後の整備計画は。(質問相手：教育長)
- 3 施設整備にかかる財源の確保は。(質問相手：町長、教育長)
- 4 新しく整備したバスケットコートの利用状況は。(質問相手：教育長)
- 5 平成の森の芝は予定どおり修復しているか。(質問相手：教育長)

通告 4 番 今野 雄紀 議員

質問方式 一問一答

質問事項 適切な行財政運営

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 行政事務の合理化に向けて適切な事務事業の見直しを行っていくと、長期総合計画の協働のまちづくりと持続可能な行財政運営を唱っている。

今年の 10 月から郵便代が改定された。その値上げに対する事務事業の見直し等について伺う。

- 1 来年度における通信費の値上げに対する対応 (質問相手：町長)
- 2 来年度における教育関係の通信費の値上げに対する対応 (質問相手：教育長)
- 3 封書から葉書への切り替え (質問相手：町長、教育長)
- 4 町内へ職員が直接配ることの費用対効果 (質問相手：町長)
- 5 DX 化による対応 (質問相手：町長、教育長)

通告 5 番 須藤 清孝 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 子育て環境（保育・学校）の働き方改革の進捗状況について

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 令和 2 年 3 月定例会にて行った一般質問から、4 年 9 カ月が経過した。当町における子育て環境の働き方改革がどのように進められてきたのか、進捗状況を伺う。

- 1 保育施設の働き方改革の進捗状況について（質問相手：町長）
 - ・これまで行われてきた改革の成果は
 - ・現状における課題とこれからの取り組みは
- 2 小中学校の働き方改革の成果と課題について（質問相手：教育長）
 - ・これまでの成果は
 - ・働き方改革に対する意識改革が行われているか
 - ・男性教職員の育休の現状は

2 件目

質問事項 観光業における漁業との連携について

質問の相手 町長

質問の要旨 町民の生活に直結する一次産業の現状は、高齢化や後継者不足に加え物価の高騰や気候変動など、依然として厳しい状況である。著しい環境側面のなか、持続可能な地域産業を営んでいく手段として今や観光業との連携は不可欠なものであり、当町においても良好な関係を構築しているものと解している。しかしながら、令和 4 年に発生した知床遊覧船事故を踏まえ本年 10 月から安全設備等にかかる法律が変更された。漁業体験や学習のほか様々な調査など漁業者の協力は不可欠であるなか、これまでの態勢を維持し継続していけるのか伺う。

- 1 協力関係にある個人や団体等の現状と課題は
- 2 法令改正を受けての町の対応は

通告 6 番 及川 幸子 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 水産業の課題克服に向けての取り組みについて

質問の相手 町長

質問の要旨 1 近年磯焼の拡大や資源再生の深刻な状況化である。6 月の議会でも『危機感をもって知恵をだして考えてほしい』と話したがどのように検討されているのか伺う。

2 当町ではウニが自家消費されているが非常にもったいない。ウニをもっと付加価値を付け高級ウニとしてブランド化してはどうか伺う。

3 鮑・ホヤやホタテも水温環境が悪化し生産が減少している。このままでは幻の、鮑・ホヤ・ホタテになりかねません。官民連携による水産業振興施策が必要と思われるので伺う。

2 件目

質問事項 戦後を振り返り平和の尊さを考えてみては

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 戦後 79 年平和な社会を生きてきたことはとても有難く幸せな事です。広島や長崎の被爆者の皆様方は悲痛な想いを背負いながら人生を過ごしてきました。日本の被爆者団体が今回ノーベル平和賞を受賞され長年の努力が報われた事となりました。

- 1 来年は戦後 80 年の年になります。そこで、町民や子供達に平和の尊さを考えてもらえる事や日本は戦争しない国で世界でも安心安全な国である事を改めて継承していく必要が大事なので、これについての施策を伺う。

(質問相手：町長、教育長)

- 2 広島市長より毎年核兵器禁止の要望書や原爆慰霊祭の出席の案内があると思いますが、今後の出席をどのように考えているのか伺う。

(質問相手：町長)

3 件目

質問事項 町内の道路整備計画について

質問の相手 町長

- 質問の要旨
- 1 避難場所である南三陸高校への避難道計画について伺う。
 - 2 祈念公園周辺の道路網の冠水が危惧されるが、今後の大雨や災害時には大丈夫なのか、また、道路整備を今後するのか伺う。
 - 3 生活道路が基本優先するが、沼田から平磯線に通ずる生活道路などの道路整備計画がどのように策定されているのか伺う。

通告 7 番 伊藤 俊 議員

質問方式 一問一答

1 件目

質問事項 災害公営住宅（復興住宅）の課題とマネジメント

質問の相手 町長

質問の要旨 町内の復興住宅は早いところで入居開始から 10 年になる。時間の経過だけでなくあらゆる社会的要因、環境変化により住民が暮らしやすさを維持していく上で難しさが表れ始めている。住宅の適正な維持管理は行政の責務であるが、同時に暮らしやすい環境をつくるマネジメントが必要であると考え、以下の点について伺う。

- 1 災害公営住宅の維持管理において課題の整理、ポイントは
- 2 入居率維持のために必要な対策は
- 3 自治会運営を持続可能なものにするためには
- 4 管理委託業務も含め管理体制の見直しが必要では

2 件目

質問事項 漁業体験プログラムを持続可能な事業に

質問の相手 町長、教育長

質問の要旨 漁業体験プログラムは国が定める旅客不定航路事業の法改正に伴い、事業者に対してコスト面だけに留まらない様々な負担が増えており、体験事業の継続そのものが危ぶまれる状況になっている。観光振興だけでなく、教育分野、環境調査分野にも影響が及ぶことを鑑みれば、公的サポートはもとより国の政策立案に対して現場の声をしっかり届ける責務もあると考え以下について伺う。

- 1 町の施策における漁業体験の位置づけ、重要度は
(質問相手：町長、教育長)
- 2 補助事業の継続や規制改革提案など国への働きかけは
(質問相手：町長)